

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和1年5月9日(2019.5.9)

【公開番号】特開2018-10444(P2018-10444A)

【公開日】平成30年1月18日(2018.1.18)

【年通号数】公開・登録公報2018-002

【出願番号】特願2016-138183(P2016-138183)

【国際特許分類】

G 08 B 17/107 (2006.01)

【F I】

G 08 B 17/107 A

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月27日(2019.3.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

煙による散乱光を検出することで煙の検出をする検煙部と、該検煙部の下方に設けられて外光を減衰させると共に流入した煙を前記検煙部に導入させる導煙部とを備えた光電式煙感知器であって、

前記導煙部は、上下に対向する部品を組み合わせることで形成された煙流路を有し、該煙流路は導入した煙を内方に向けて誘導する第1煙流路と、該第1煙流路の内周側に形成されて前記第1煙流路を通過した煙を前記検煙部側に向けて斜め上方に誘導する第2煙流路を有することを特徴とする光電式煙感知器。

【請求項2】

前記導煙部に、前記第1煙流路と前記第2煙流路との境界に高さ方向の流路幅が狭くなつた最幅狭部が形成されていることを特徴とする光電式煙感知器。

【請求項3】

前記第1煙流路は、内方に向かって流路幅が徐々に狭くなっていることを特徴とする請求項1又は2記載の光電式煙感知器。

【請求項4】

前記第2煙流路の下面を形成する部材は、その頂上部の高さが前記検煙部に延出するこなく検煙部の下方の位置になるように設定されていることを特徴とする請求項1乃至3のいずれか一項に記載の光電式煙感知器。

【請求項5】

前記第1煙流路及び又は第2煙流路の壁面にスリットを形成したことを特徴とする請求項1乃至4のいずれか一項に記載の光電式煙感知器。

【請求項6】

前記第1煙流路に、流入した煙を前記第2煙流路に向けてガイドするガイド部材を設けたことを特徴とする請求項1乃至5のいずれか一項に記載の光電式煙感知器。

【請求項7】

前記ガイド部材は、第1煙流路の周方向に放射状に立設された複数の板状体からなることを特徴とする請求項6に記載の光電式煙感知器。